

感染拡大に際して(岡山県緊急事態宣言発令中)

現在、コロナウイルス感染症の第4波が日本中で猛威を振るい、首都圏、関西圏はもちろんですが、これまで感染者の少なかった岡山県でも未だかつてないほどの感染報告がされ、緊急事態宣言まで出てしまい、医療の逼迫状況は全国でもトップクラスとなっています。しかし一方では、予定されていたワクチン接種は一向に進まず、すべての国民にワクチン接種が完了できるのはおそらく来年の春ぐらいかと思われます。幸い歯科医院での感染報告はほとんどありませんが、ワクチン接種がすべての国民に行き渡り、感染が収束し安全な日々が訪れる日まで、感染対策の再度徹底をしていきたいと思っております。

来院される皆様にも色々と不自由をおかけすると思いますが、何卒ご理解とご協力をお願いします。

来院される患者様から歯科医療従事者への感染対策として



・受付へのビニールスクリーンの設置



・スタッフの姿【Dr,受付等】(マスク、ゴーグル、グローブ、フェイスシールドの着用)



・体温測定(非接触式)

歯科医院(スタッフ含む)を媒体として、来院される患者様への感染対策として



・待合の感染原因になりうるものの撤去(おもちゃ、雑誌、新聞など)



・間仕切りビニールスクリーンの設置(飛沫感染防止)



・ディスポーザブル(使い捨て)製品



・口腔外バキューム



・消毒、滅菌専属のクリーンスタッフの配置



・患者様ごとの二重消毒(アルコール,次亜塩素酸)

【使用器具の滅菌について】

当院で行っている滅菌手順やその理由を簡単にご説明いたします。

●超音波洗浄機

治療に使用した器具を超音波の力で洗浄するための機械です。
超音波洗浄機は、手洗いでは落としきれない器具の細部まで確実にきれいにします。
滅菌消毒処理前の器具の洗浄は重要な作業です。



●オートクレーブ

高温と高圧(2気圧、132℃)で細菌やウイルスを死滅させる機械です。
超音波洗浄後、滅菌パック詰めを行い、オートクレーブにて滅菌処理を行い、
患者様ごとにパッキングしています。当院では2台配備しています。



●ガス滅菌器

歯科医院で使用する器具のものでプラスチック製やサビを生じやすい器具は
オートクレーブを使用することで溶けたり、変形する可能性があるため、
使用することができません。そういった器具はガス滅菌により滅菌が可能になっています。



おわりに、

歯科治療は歯の治療だけではなく、来院される患者様からの感染を如何に防ぎ、他の人に拡散しないかが我々の役目です。感染対策がどのレベルでどれくらい講じられているかによって感染の危険性は大きく変わってくると思います。今後、市中感染が拡大すれば、歯科医院にも、コロナウイルス感染者が受診することもあるかと思えます。私たち、歯科医療従事者が、皆さんの口腔内のみならず、身体の健康を守るため、感染リスクは承知で、日頃から高度な感染対策に努力しています。マスク、グローブ、消毒薬の不足も噂されている時期ですが、当院におきましては十分に確保しておりますので、ご安心ください。

現在全国で緊急事態宣言が発令され、岡山でも決して安全とは言えなくなってきました。今後、感染拡大を防ぐため、皆様が外出を控えることも当然のことと思います。その際は、遠慮なく予約のキャンセルをしていただいても結構です。コロナウイルス感染症の終息は短期間では難しく、長期化することも考えておかなければなりません。

歯科医院は、今回のコロナウイルス感染症だけでなく、インフルエンザ、肝炎ウイルス等の感染症と常に向き合いながら皆さんの健康を守り続ける場所だと思えます。診療技術や設備が優れていることはもちろんですが、**感染対策のレベルこそが、安心・安全の歯科医療を受けるうえでの最も大きなポイント**であることをご承知おきください。

状況によりましては、当院でも来院される皆様とスタッフの健康を守るため、診療を縮小や全面休診に踏み切りざるを得ない場合もあるかと思えますが、ご理解いただければ幸いです。

院長 宇治郷 好彦